

# 永寿園とよなか

木原 静子 様作

平成27年 第3号  
 発行人：所長 太田 卓哉  
 発行：永寿園とよなか  
 〒560-0084  
 大阪府豊中市新千里南町  
 3-2-122  
 TEL：06-6840-2211  
 FAX：06-6840-2214  
 E-mail：eijuyentoyonaka122@seagreen.ocn.ne.jp  
 URL：http://www.osj.or.jp/eijyuen/



## 新年のご挨拶

所長 太田 卓哉

新年あけましておめでとうございます。今年も一年、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成28年1月より養護老人ホームの外部利用型特定サービスのサービス提供方法を変更しました。これは、特定の入居者様の重度化に伴い、従来の外部サービスを利用していたサービス提供だけ

では、十分な介護ができなくなってきているために、養護老人ホームの支援員が介護サービスを効率的に、また、より丁寧に行うことで、介護サービスの充実を図っていきたくと考えています。

一階のフロアで行っていたデイサービスセンターは、昨年末をもちましてサービスの提供を終了しました。1月からは今まで利用して頂いていた入居者の皆様を含む養護老人ホームの入居者全員を対象として、3階4階のフロアにおいて機能訓練やレクリエーション活動を実施していきます。養護老人ホームの入居者様が、健康でたのしく生活を送る事ができるように、取り組んでいきたいと考えています。

地域の皆様向けに昨年9月より開催しております公開講座ですが、今年も毎月一回の開催を予定しております。3月までの内容は決定していますが、4月以降については企画中です。皆さまからのご意見を参考にさせていただきたいと思っておりますので、是非、お聞かせいただきたいと思います。

これからも、永寿園とよなかをどうぞよろしくお願ひします。



### ステップアップ事業 (認知症サポーター養成講座)

認知症サポーターの養成講座2か年計画の2年目にあたり今年度の取り組みをお伝えします。①キャラバン・メイト(認知症サポーター養成講座の講師役)の増員 昨年の3名から今年度は7名に増員。講師不足の解消や講師毎の特色を活かし講座内容が多様化出来ました。②地域への情報発信ツールの活用 開催案内は以前、施設掲示板や市報のみでしたが今年度は豊中市や大阪府社会福祉事業団のホームページに掲載され近隣以外の方も参加されています。③豊中市キャラバン・メイト連絡会企画部会への参加 豊中市における認知症サポーター養成講座の開催を活発化、福祉のまちづくりや地域包括ケアシステム構築に向け、他の事業所のメイト会員と連携し活動しています。一般企業等を対象とする講座をコーディネートし開催。出張講座の開催が増加しています。今後も、認知症サポーターを一人でも増やし、安心して暮らせるまちを地域のみんなでつくっていくことを目指します。



## 養護一般化にむけて



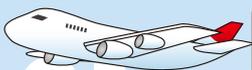
平成27年4月の改定介護保険制度から、永寿園とよなか養護老人ホームでは今まで行っていた外部サービス利用型特定施設入居者生活介護から一般型の特定施設入居者生活介護へサービスの変更を実施していきたいことを太田所長より家族様、入居者様へ資料を用いて説明を実施させて頂きました。

その後、具体的な今後の入居者様の利用料金を生活相談員から説明させて頂き、制度の理解を頂いています。

全体を通して、家族様からは質問等はありませんでしたが、全体の説明終了後、特定契約を結ばれている入居者様の家族様から「個々の所得による減免の説明はこの理解で正しいでしょうか?」という質問にお一人ごとに説明をさせて頂きました。

これからも「その人らしく」をモットーに、入居者様、地域住民、職員にとって愛される施設になる事が出来るよう職員一丸となって新たなサービス変更に伴い、初心を思い出し取り組んでいきます。

## 海外研修



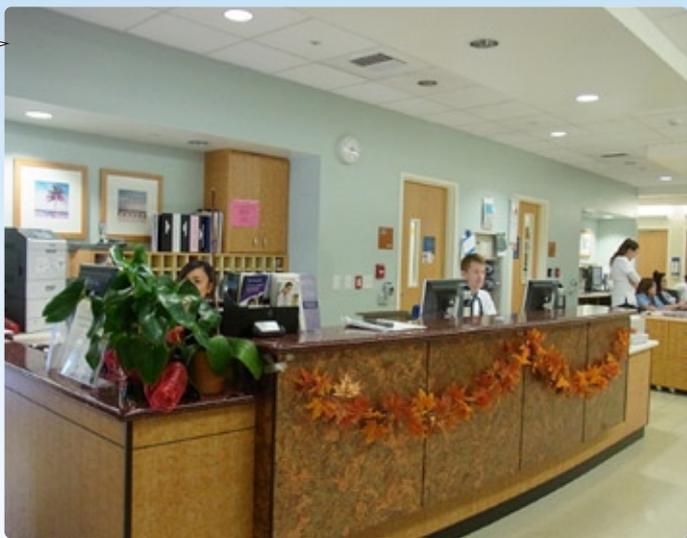
養護老人ホーム 生活相談員 家村 悠子

アメリカでは個人の支払い能力や保険により治療や介護を受けることになります。日本のようなヘルパー制度がない為食事や掃除、買い物の公的援助はありません。



日本でも介護保険の改正により、介護報酬も段々と下がっており、利用者様への高負担が増している中で、アメリカのように公的援助としての選択肢が狭まらないかと少し不安を感じました。

社会福祉法人がどのようにして社会に貢献し、また顧客満足度を上げながら持続的に最高のケアを提供して行けるのか、考えさせる研修となりました。



## 介護相談員

明けましておめでとうございます。

永寿園とよなかで、平成27年11月から介護相談員を務めさせていただきます中谷和枝(なかやかずえ)と申します。

月1回程度、施設へのご訪問をさせて頂いていますので、ご入居者の皆様でご相談事がございましたら、お気軽にお声かけ頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

# 施設行事



ふれあいコンサート



天ぷら料理



保育所芋掘り



ご利用者様芋掘り

# 敬老祝賀会

敬老祝賀会で今年より養護老人ホームで発足したコーラス部「すみれ」が日頃からの練習の成果を発揮されました。リーダーを務めるM様は、本番1か月前ほどから、ピアノ伴奏する職員の姿を見つけては「いつ練習するの?私たちは夕方にやっているよ」と話され職員はびっくりしました。それほど利用者様だけで練習しているとは知らず、お声を聴いた時から一緒に練習を重ねてきました。



ある時はアカペラで、ある時はハーモニカに合わせて日を追うごとに上手になられました。本番では緊張気味で少し間違えはありましたが、楽しそうに笑顔で歌われていました。今後は様々な場でご披露できるよう、また参加者が今以上に増えるよう活動を行っていきます。



# 寿司バイキング

永寿園とよなかでは、入居されているみなさんに喜んでいただけるよう、行事食として年2回、寿司バイキングを行っています。

平成27年度は、5月と11月に行い、この11月には、真鯛の解体ショーをしました。みなさんは、目の前で鯛がどんどん解体されていくところを、驚きや感心の眼差しで観ておられました。

三枚おろしされた鯛はそのまま目の前でにぎり、提供したのですが、とても人気があり、すぐにネタ切れとなりました。

その他の寿司ネタも新鮮なものばかりで、目の前で握られる臨場感で、どんどん食が進み満足されたご様子でした。



# 屋上農園

「永寿園とよなか」の見学に来られた皆様を、私は真っ先に屋上にご案内します。手入れの行き届いた庭園と農園を見られ「すごいですね、良く手入れをされていますね。さぞや大変でしょう」と皆様おっしゃいます。「そうなんです、本当に大変で…」と返答したいところですが、実は園の送迎担当の上田運転手と奥様を中心に、印藤・今村運転手がボランティアで日々手入れをしている賜物なのです。

庭園の芝刈りや花の手入れに始まり、さやえんどう・玉葱・じゃが芋・トマト・胡瓜・ナス・しし唐・オクラ・スイカ・さつま芋・大根・白菜等々、ほんの代表作ですが収穫物で季節の移り変わりを感じませんか?入居者の皆様の憩いの場所、地域の皆様や近隣の保育園児との交流の場所として日々、屋上を活用しています。六甲山系に沈む夕焼けは感動で涙が出るほど壮大な景色です。永寿園とよなかの自慢の屋上庭園を一度ご覧になりませんか?一見の価値は保証します!。



# 医務室より

このたび、10月1日に入職いたしました看護師の杉山由香里です。今までは、病院・在宅看護の場で勤務しておりました。

当施設がめざす「その人らしさ、こころ」を思いながら、ご入居者様・ご家族様一人一人とのつながりを大切に、ご入居者様の体調管理と共に、より良い介護・看護ケアを提供できるように経験を生かしながら、笑顔で頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。また、少しずつ寒い季節へと移り変わり、風邪、インフルエンザ、ノロウイルスが流行する季節となりました。

ご入居者様の感染予防にも努めさせて頂き、ご家族様にも面会時にはご協力を願います。



# デイサービス



デイサービスセンター永寿園とよなかでは、心地良い空間を提供させて頂いているうちに、皆様による皆様のための皆様だけのものが生まれています。ひとつが壁画です。紅葉のお題に木が4本生まれそれに道を付けて、池があったらアヒルが泳いで…と工夫しひろげ育てて下さるのはご利用の皆様です。鮮やかに仕上げられる塗り絵はバースデイカードに変身します。カードゲームでの盛り上がりも皆様が居て下さってこそです。

「次はいつですか?」「次も必ず来てください」がお別れのご挨拶のようになっていました。そんな皆様の空間、デイサービスセンター永寿園とよなかを平成27年12月をもちまして閉所することになりました。平成25年3月開所以来、格別のお引き立てを賜りご利用頂きましたこと、厚くお礼を申し上げます。これまでご利用頂いていた利用者様「今日まで、ありがとうございました!」と笑顔でお見送りさせていただきます。

## 社会貢献事業

豊中市北東部圏域で「地域包括ケア」の一環として「介護予防」をキーワードに、地域に向けた取り組みを進めています。理学療法士をお招きしての体力測定、認定看護師により「最新の認知症教室」、座った状態でも参加可能な「笑いヨガ」など毎月一回以上、地域交流室にて開催しています。参加人数も毎回30人以上と施設行事としても大きな行事となり、「次回はどのような催しを行うのかな」と言う地域の方がお声をよく耳にするようになってきています。ひとえに他の関係機関のご協力があるからこそ取り組むことが出来ています。これからも地域皆様のお声に耳を傾け、介護予防に取り組んでいきます。



## 苦情解決

ご意見箱内には、養護老人ホームより他の入居者様の電気使用(エアコン、洗濯機)の仕方についてご意見がありました。

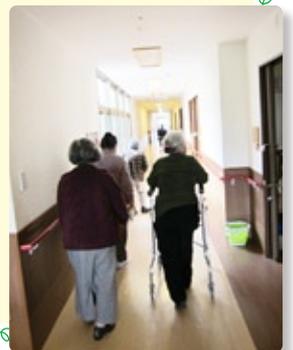
「ことぶき1丁目の人たちは節電協力する人が一人もないようです。朝から晩まで電気はつけっぱなしで部屋にいない時でもエアコンもつけたままで腹が立ってきます。私は暑がりだけど冬でも夏でもエアコンはもちろん電気もあまりつけないで節電に協力しているつもりです。洗濯も週一回にしています。何とかありませんでしょうか。見ていただけませんか。」

日頃より節電に対する思いはこまめにお話しさせて頂いています。洗濯機の使用に関しては昨年度末にも課題として上がっており、3階については、月水金の週三回までのご利用(緊急時は省く)とさせて頂いています。介護が必要な方も多くおられるため、自己管理が行き届かない方もおられるかもしれません。利用者様のご意見もお聞きしながら、日々の生活が楽しく過ごせるように介入させて頂いています。



## 歩こう会

下肢筋力の低下防止と元気な百歳を目指して毎日13時45分から長い廊下を利用して歩こう会を開催しています。暑い時、寒い時、雨が降っても歩けます、をうたい文句に、腕を振って足を上げてワン・ツーワン・ツーと音楽に合わせて毎日歩かれています。今日何周歩こうかな、夜眠れるようになったよ、また明日ねと参加することが楽しみになり、コミュニケーションの場となっています。



## 編集後記

昨年、10月に永寿園とよなかの広報誌として2号目の秋号を発行し、少しほっとして、次号は2月頃に冬号を作れば良いかな、なんて悠長に考えていたが、広報誌の発行を定期的にタイムリーに出すには、まず新年号を作らないといけないという事になりました。短い準備期間でしたが、関係部署、担当スタッフの協力の元、無事に永寿園とよなか広報誌第3号、新年号を発行する事が出来ました。

秋は、様々な行事がありましたので内容もなかなか充実したものをお届け出来たと思います。最期になりましたが、今年も1年、宜しくお申し込み申し上げます。

